

経済建設委員会会議録

平成25年7月12日 13時00分 開会
13時26分 閉会

網走市議会

午後1時00分 開会

○佐々木委員長

お疲れさまです。

経済建設委員会を開催いたします。

まず、工藤委員から少々遅れるというお話がありましたので、後で来られると思いますので御了承下さい。

本日の委員会は、行政視察の実施について、作況調査の実施についての議件2件でございます。

まず行政視察の実施についてですけれども、まず1点目、6月18日開催の委員会閉会后に協議しました、11月5日から8日の日程で実施することで、皆さん確認お願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「よし」の声あり)

○佐々木委員長

行政視察先の選定についてですけれども、皆さんにそれぞれ案を出していただくということで、お話をしておりましたけれども、きょうまでに、小澤副委員長、古都委員、栗田委員の3名から提案をいただいておりますので、各委員より発言をいただき、その他委員から提案があれば、合わせて御協議を願いたいと思います。

では順次、発言をお願いいたします。

それぞれ皆さん自分の提案した部分について、発言をお願いします。

○古都委員

私は、二つ提案をしております。

鹿児島県鹿屋市と鹿児島県鹿児島市の、2つなのですけれども、一つは鹿児島県鹿屋市で、資料でいうと5ページです。

鹿屋市の串良町の部分にあるという説明をされているのですが、柳谷地区というところの町内会単位での経済活動というのが成り立っているすごく、稀有な例でありまして、もともとが資料でもあるとおり、東京ドームでイチローの試合を観戦するのを目標としてということで、いろいろな地域の畑を活用して、お金をつくり、またそれを地域のブランドとして作ったり、地域の自力の底上げとして活動していると、それを一概に地

域の活動としてとらえるのではなく、経済活動、地域活性の一つとしてならば、大いに視察の価値があるのではないかと思います提案しました。

もう一つは、鹿児島県鹿児島市、次のページ、6ページなのですけれども、観光農業公園整備事業ということで、網走でも今大曲湖畔園地ということで、観光農園という位置づけであると思います。その活用ということで、同じ目的でやっている中で、先に取り組んでいて大々的にやっているという部分、総工費等々は事業費とも桁が少しむこうのほうがいいのかと思うのですけれども、活用方法として、アイデア等々が組み込まれている中で、低コストかつ取り入れられる部分があるのならば、その中から少しでも真似でもいいから取り入れる部分というのを提案できる価値があるのではないかと考えて、この2点を提案します。

○佐々木委員長

それでは次に栗田委員どうですか。

○栗田委員

資料の後のほうについてますけれども、僕は観光に特化してちょっと探してみました。

その中で、まず松江市で行われている、松江の歴史館を核とした観光施設。

施策ということで、当市においても、モヨロ貝塚館の開館等、いろいろな博物、遺跡、その他を利用しての観光を絡めた動きというのも、今ちょうど動いている時期なのですけれども、そういう意味からこの辺はおもしろいのかなということでピックアップさせていただきました。

雲仙市のほうですが、これはトライアル事業ということで、雲仙市については、ほかの部分で民間のほうの交流で、かまぼこの長さを競う大会とかで、いろいろと交流はしているようなのですが、我々はその議会サイドの見方として、どういうまちの動きをされているのかなということで、この辺も参考になるのかなということで、ピックアップさせていただきます。

最後の9ページなのですが、これはねぶた祭りで面白いなというのを思ったのですけれども、皆さんも知っているとおり、この事業っていうのは斜

里のほうでかなり昔からやられております。

この中にも書かれていますが、いろいろな制限の中で1日の短期的なものなのですが、各イベントとしては結構あちらこちらで、いろいろな部分でこういうものが行われて、それが長く継続されているという実態があるので、それが本市にとってどのようなものかなってというのは、またあれなのですけども、面白いなと思ってピックアップをこの3点をどうかなということ考えさせていただきました。

○佐々木委員長

ありがとうございました。では、小澤副委員長。

○小澤副委員長

私は、7市ほどあげさせていただきましたが、最初の1ページ、水戸市につきましては、本市においては、川沿地区のこれからの方向性を見出すために参考にできると思い、選定させていただきました。

また2点目の鹿児島市の関係は、古都委員と一緒にですので、やっぱり私も大曲湖畔園地の今後に生かせるのではないかというふうに思って、あげさせていただきました。

続きまして、2ページにあります長崎市につきましては、まち歩きの観光ということで、今後の中心市街地をどうするかということで、コンパクトシティを目指す網走市としても、見ておいたほうがいいんじゃないかということで、こちらのほうもあげさせていただきました。

4つ目、山梨市でございますが、こちらは本市の観光部が設立されて、今後、女性の目線だとかも生かさないかということで、参考にあげさせていただきました。

続いて、次のページの北九州市でございますが、アジア観光の戦略の中で活かせるものはないかということで、エネルギー問題も含めた中で、こちらのほうもあげさせていただきました。

続いて、倉敷市でございますが、本市もおこなっております指定管理者の、選定方法、また更新の方法の参考とするため、どうかなということあげさせていただきました。

最後になりますが、呉市でございますが、市民協働によるまちづくりにというものを本市も考えてますので、使用用途を制限しない補助金というものを、町内会などで活用できないかという、観点からこちらのほうもあげさせていただきました。

以上です。

○佐々木委員長

ありがとうございます。

これで、3名の方から結構な行き先が出てきましたので、あとは山田委員いかがでしょうか。

○山田委員

経済建設ですから、いろいろ所管も広いということも一つありますし、今3人の委員からいろいろ出てきたので、私はちょっと公共交通の部分で、今試験的にデマンド、乗り合わせも含めて二ツ岩地区でやっているの、安曇野とかいろいろところでやっている経緯がありますので、そんなところも見たいなという思いもちょっとありますが、あちこち飛ばませんから、できれば先に言われた皆さんのところを尊重しながら、整理していったらいいかなとおもいます。

○佐々木委員長

それでは皆さんのそれぞれの、視察の希望先が出たのをそれぞれお互いに聞いたと思いますけれども、ただ一点だけちょっと今までの視察の関係からいきますと、2ページの長崎市のまち歩き観光、長崎さるくにつきましては、今までの資料を見ましたら、平成22年に同じ視点で行ってきているということがわかりましたので、そのときの皆さんの報告資料等見ていただいて、参考にすることで、このまち歩きに関しては、今回は見送ったほうがいいかなと思いますけれども。

(「はい」と呼ぶものあり)

○佐々木委員長

それを除きまして、やはり、行政視察もこれまで私たちもいろいろとやってきましたけれども、余りこう地域が離れたりしますと、なかなかその移動に時間を取られてしまって、しっかりとした視察がちょっとその辺で負担がかかるというこ

とも、私たち経験してきているものですから、なるべく移動距離に関しても余りたくさん取られないようなかたちで、それぞれの特色のある視察先を3市程選ばれるのがいいかなと思いますけれども。

例えば鹿児島市の観光農業公園整備事業については、事業費については少し桁が違うとは言いながらも、やはり私たちも湖畔園地に関しては、本当にまだまだいろんな議論していかなければいけない部分もありますので、小澤委員と古都委員、お二人から出てるという意味では、これは優先して尊重して考えたほうがいいのかと、今聞いている中で、一つだけそんなふうに思いましたけれども、それとそこを核に、経路を行きやすい形で選ぶというのも一つあるかなと。考えますけれども。

山田委員。

○山田委員

今委員長から、話があったように、鹿児島の農業公園ですか、これは古都委員それと小澤副委員長、二人から出ているとなると、委員長言われるように規模、大分違うなというふうに思いますが、二人が思いがあるというのだったらここは尊重して、そうなる鹿児島ということになるし。

それから柳谷なのですが、これ非常に皆さん興味はあると思うのですが、ただ僕もよく聞いているのは、むこう側が、相当な視察が相当入ってて、調整がなかなか厳しいという話もあるので、せっかく鹿児島行くのなら、柳谷ももしあれだったら見るという方法もあるかなと。

相手があることなので厳しいかもしれませんが、方向としては、もつのがどうなのかなって、こんなふうにちょっと思いますけど。

○佐々木委員長

柳谷は本当に非常に特色のある、本当にこれからの将来ある姿にすごく理想的な動きをしているということもありますよね。

あと、どうでしょうか。

ぜひここは今の流れの中で、ここもいいのではないとか、整理がつくのであれば、皆さんの意

見の中で整理していきたいと思います。

ただ、資料をゆっくり読む時間が、たぶんきょう始めてだと思しますので、少し休憩をとって、ゆっくり内容を呼んでいただく時間は必要でしょうか。

どうでしょうか、暫時休憩いたします。

午後1時13分

午後1時19分

○佐々木委員長

再開をいたします。

皆さんにいろいろと見ていただいたと思いますけれども、いろいろな意見がありますので、正副のほうに一任をいただいた上で、今月中にもう一度委員会を開きまして、正副のほうの案を見ていただいて、その中から決めていただくというような形で、取り進めてよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○佐々木委員長

そのような形で正副一任ということで進めさせていただきます。

日程は、ここで決めておいたほうがいいでしょうか。今月中の委員会の日程。

皆さん予定あるでしょうかから、よろしかったら7月の末ですから、もしあれだったら、26日流氷おどりで皆さん集まらないといけないですよ。

その前あたりに時間をつくってというのは、どうでしょうか。

4時ぐらいに集合ということになってますので、その前に委員会で皆さんに確認していただいて、決定するというような段取りでどうでしょうか。

では26日ということと、時間は後ほど決定させていただきたいということでよろしいでしょうか。

(「よし」の声あり)

○佐々木委員長

では、行政視察の実施については、今、申し上げましたように、正副に一任をいただいた上で、7月26日に再度委員会を開きまして、案をもとに、最終的に決定していただいて、取り進めるという

ことで、確認をしたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

(「よし」の声あり)

○佐々木委員長

次にですね、作況調査の実施についてですけれども、正副委員長に日程、視察先等を一任いただいていたけれども、視察行程案ができましたので、内容について協議決定を願いたいと思っております。

皆さんに資料が行っていると思っておりますけれども、非常に抽象的な中身ではありますけれども、今なかなか、農政課のほうで具体的な調整がまだついていないということで、西部、中部、南部地区で畑作3品の状況を視察すると、それ以外に時間的に多少余裕があった場合については、例えば去年、湖畔園地のヒマワリ迷路を見に行く予定だったのですが、ゲリラ豪雨とともにきた竜巻で、ひまわりが倒れてしまいまして、見れなかったということもあるものですから、今回8月9日に実施するので、またもしかするとその状況を見ることができるかなと思うので、車の行程の中で寄れましたら、それはちょっと入れたらいいかなと考えています。

それでこの日ですが、この案の中には、1時半出発になってるというのは、1時から地域公共交通の調査検討事業の報告をしたいということで、経済部のほうから話が来ておりますので、1時に委員会を開きまして、地域公共交通の検討事業の報告を受けまして、そののち、13時30分出発をして、この作況調査を行いたいと思っておりますけれども、そのような形でよろしいでしょうか。

(「よし」の声あり)

○佐々木委員長

では具体的な調査内容は、もう少し詰まってくると思いますので、その辺はまた正副のほうに一任をいただいて、8月9日13時より委員会を開いた上で、作況調査に行くということでよろしいでしょうか。

(「よし」の声あり)

○佐々木委員長

よろしくお願いたします。

○山田委員

委員外の議員もどうかたちでやるかということと、それと麦が非常に、麦ばかりではないのですが生育が遅れてて、本来ですと7月20日ぐらいから稲の刈り取りが例年始まるのですが、きっと8月の頭ぐらいかなという話を聞いているので、あまり農家の方に迷惑かけないように、なるべく見せていただくことを十分委員長副委員長は配慮していると思うのですが、その辺だけ一つお願いしたいと思います。

○佐々木委員長

今、委員外議員の参加についてという話もありましたので、これ皆さんに確認しなければいけない点でしたので、委員外議員の参加について、皆さん認めるということでよろしいでしょうか。

(「よし」の声あり)

○佐々木委員長

そのように進めたいと思います。

今、山田委員より話のありました麦の刈り取りの配慮をしながら、行程を組むということで、改めて担当部署にはお伝えしたいと思います。

その他、委員から何かございますか。

(「なし」の声あり)

○佐々木委員長

それでは、以上で経済建設委員会を終了いたします。

お疲れ様でした。

午後1時26分 閉会